

日本原演習場
と駐屯地の
考えは



新風会
松本義隆

演習場

問 日本原演習場と陸上自衛隊日本原駐屯地についての考えは。地元周辺の皆さんの迷惑についての考えは。駐屯地の隊員数削減については。

答 演習場と駐屯地は国防や災害派遣など必要なもの。演習場では民家から非常に近い場所ので火砲訓練などが行われるため、これまで地域の方々が騒音や振動による障害を受けてこられたと認識している。勝北地域と演習場とは長い間、共存共栄してきたという歴史事実があり、地域の皆さんの思いを最大限尊重し、演習場対策に取り

組みたい。隊員削減は、防災面や地域活性化、経済面など多面にわた

り近隣自治体、県内全域にも影響がある。新たな防衛大綱が出されたのを機に周辺首長、地元県議とともに、防衛省、議員会館を訪ね、駐屯地の現体制の確保を要請し、今後も部隊や隊員を削減しないよう要望していく。



日本原駐屯地での行事の様子

移住者、定住者受け入れ体制の確立を



津山誠心会議
田口慎一郎

移住

問 移住トータルサポートの基礎固めは。

答 新年度、移住サポートを雇用、定住ポータルサイトを開設し、移住者の受け入れ体制を整備する。

行革

問 職員への意識改革の考えは。

答 新年度より、目標管理制度を導入し、行政マネジメントの充実強化を図る。組織目標を明確化し、職員が共有、個人の成果目標を設定、さらに結果を評価し、次に活かすことで、職員自らの意識向上を図る。

給食

問 給食による食育推進の成果は。

答 昨年末から、キャベツ・ダイコン・ネギの3品目は、地元生産者とJAつやまとの契約栽培によるものを優先して調達。新年度からはジャガイモ・タマネギ・シヨウガの3品目を加えるようにJAと調整中である。



移住コーディネーター機能の充実を

津山市に暴力団はいりません!



日本共産党
津山市議団
末永弘之

政治倫理

問 田邑のごみ処理場の先行取得、過去のあの議長追い落としや、東部衛生組合の焼却残渣を廃棄する契約をした「キンクワリンセンター(株)」の例など「暴力団はいりません物語」であり、この苦い経験から、暴力団排除条例の中、津山市政や市議会には暴力団

はいらないと思うが、「ならぬものならぬ」の市長の政治姿勢として、どう思うか。

答 田邑土地買収などの時、私も職員であり、暴力団の噂は耳にしている。公共事業に暴力団の関与があつてはならないと考えている。地方自治体が暴力団を利用することは、あつてはならないことである。暴力団排除について多くの市民が望んでいることであり、「ならぬものならぬ」であつて、私はこの信念で市政運営にあたる決意である。



津山市暴力団排除条例のポスター